

としまち研掲示板

△▼△としまち研 各部会の次回開催予定△▼△

共同建替え部会	10月 5日(月)
コーポラティブハウス部会	10月 5日(月)
団地・マンション再生部会	10月26日(月)
人と暮らし部会	10月 2日(金)
総務部会	10月20日(火)
広報部会	10月20日(火)

としまち研会員の方であれば誰でも部会に参加できますので、是非ご参加ください。



「COMICHI (こみち) 石巻」

【COMICHI 石巻 オープニングセレモニー見学報告】

9月27日(日)、東松島市に隣接する宮城県石巻市中央の松川横丁に完成した「COMICHI 石巻」のオープニングセレモニーを見学させていただきました。石巻市では初めての優良建築物等整備事業が適用された共同建替えて、地権者さんの住宅とシェアハウス及び飲食店からなる複合施設です。石巻中心部での復興第1号プロジェクト完成を祝い、地元の方々からも期待の声が多く寄せられていました。

事業の設計・コーディネートに取り組まれた野田明宏さん(LLC 住まい・まちづくりデザインワークス共同代表)に、来年1月の一木会でお話しいただく予定です。



テープカットと同時に青空ハバルーンリリース

【「大泉学園・戸建てコーポラティブハウス」間もなく募集開始!!(予告)】

西武池袋線：大泉学園駅から徒歩圏内にて、戸建てのコーポラティブハウスを企画・検討中です。大泉学園の駅前は、買い物に便利、現地は小学校にも近く、子供さんのいるご家庭は、特に暮らしやすいエリアだと思います。マンションもいいけど戸建てでも気になる…。という方、お知り合いで住宅取得をご検討の方がいらっしゃいましたら、是非ご注目ください。

もう間もなく詳細をご案内できるかと思っておりますので、ご興味のある方は、としまち研 HP や Facebook の今後の情報更新をお待ちください。お楽しみに。

編集後記

夏の暑さはどこへやら、朝晩は急に涼しくなりました。

皆さん、シルバーウィークはいかがお過ごしになりましたか？

私は、4年ぶりに海外へ行きました。場所はカンボジア&ベトナム。いつも思いますが、異文化を知るといのは刺激になります。世界遺産であるアンコールワット・アンコールトムへ行ったのですが、現地のガイドさん(写真左の方です)が、日本の時代背景とリンクさせた説明をしてくださり…日本人より日本の歴史に詳しくてびっくり。日本人としてせめて日本の歴史は知らないとは恥ずかしいですね。(事務局 飛澤)



アンコールトムにて

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町 33 COMS HOUSE 2階
tel 03-5207-6277 fax 03-5294-7326
E-mail info@tmk-web.com ホームページ http://www.tmk-web.com/
皆さまからのご意見、ご感想をお待ちしております。

としまち研現在の会員数
正会員 63人 賛助会員 33人
編集発行人 平石郁夫
事務局担当 飛澤玲奈



としまち研会報 第77号

おいらのまち

2015.9

発行 NPO 都市住宅とまちづくり研究会 理事会

建設の進むあおい地区・再訪報告

平成24年4月から今年3月末までの3年にわたり、としまち研が復興のお手伝いをしてきた東松島市あおい地区を再訪しました。宅地の引渡しが進んだ自力再建地区では、あちこちで住宅の建設が進んでいて、工事の車両や職人さん達で賑わっていました。既に洗濯物が見える住宅もあります。



写真1



写真2

あおい地区では、みんなで「街並みルール」を定め、住宅の前面については「セミパブリックゾーン(安心・ゆとりゾーン)」として、道路境界から1mの部分は塀や柵などの工作物をつくらないこと、低木・草花を中心とした緑が連続するよう努めること、門燈を備えた門塀を配置するよう努めることなどを決めました。地区内を歩いていくと、街並みルールのイメージ通りに完成している住宅をいくつもみつけることができました(写真1、2)。この調子で進めば、良い雰囲気の良い住宅地が出来上がりそうです。外構は後回し…、という様子の家もありましたが、将来に

向けてゆとりの空間が担保されているというのは、素晴らしいことだと思います。市に伺ったところ、街並みルールに関するトラブルは特になく、スムーズに進んでいるとのことでした。

公園も、「子ども広場」、「健康づくり・憩い広場」、といったコンセプト通り、三丁目公園には子ども向け遊具が、二丁目公園には健康器具が設置され、それぞれ特色のある公園が出来上がりつつありました。ただ、駅前広場は出来上がってみると、このスペースは誰が何のために使うのだろう、という感が否めません(写真3)。目の前に東矢本駅が見えますが、直接のアプローチができず、50m程先の踏切を渡ってこなければいけません。



写真3

自力再建地区は、今月の一丁目地区の引渡しが最後となり、災害公営住宅についても第IV期の入居が平成28年8月に予定されています。しばらくは自宅建設や引っ越し等で慌ただしいかと思いますが、暮らしが落ち着き、地区自治会、自治会連合会がどのように展開していくか、見守っていききたいと思います。(としまち研理事 宮本愛)

おいらのひとりごと

『おいらのひとりごと』はとしまち研会員によるリレー形式のエッセイです。

『登記の仕事』としまち研 大瀬明子

登記の仕事は、法務局へ登記を申請することだけではなく、お客様にご捺印いただく書類の準備から始まります。最初は単なる白い紙1枚ですが、様々な内容をプリントし、お客様のご署名と押印をいただくことによって、個性を持ち、いろいろな思いがこめられて、かけがえのない大切な1通になり、法律的な効力を持っていく。そんな書類作成のプロセスを、私は、司法書士という仕事に携わり始めた当初から、興味深く思っています。

この度、株式会社TMKサポートの設立にあたって、内容をひとつひとつ検討するところからお手伝いさせていただき、発起人メンバーの皆様の思いをしっかりと感じながら、設立の登記を申請しました。

会社の設立登記の日は、すなわち新しい会社のお誕生日です。生まれたばかりのTMKサポートが、皆様のよりどころとして、大きく大きく成長していきますように。

※次号の『ひとりごと』は安藤美香さんです。お楽しみに。

一木会ご報告(原則、毎月第一木曜日に行う勉強会・交流会です)

☆第241回一木会(2015.9.3)

女性建築技術者の会「記憶の中の住まい」プロジェクトチーム7名の女性建築技術者の皆さんに「記憶の中の住まい」プロジェクトの取り組みのお話をいただきました。

としまち研が、この3月までに取り組んだあおい地区への集団移転では、どうしても宅地や住宅というハード面での取り組みが中心となりましたが、「記憶の中の住まい」プロジェクトでは、あおい地区に移転する皆さんのなかの8名の方から、津波に遭う前の住まいに関するヒアリングを行い、それに基づく平面図の作成をされています。被災者の皆さんの近況も教えてもらいました。



今後の一木会予定

- ☆10月(10月1日)【第242回一木会】
静岡大学工学研究科・元教授 平田邦夫さん 「宇宙ロケットと地球の暮らし」
☆11月(11月5日)【第243回一木会】
(株)綜建築研究所 取締役の北川滋春さん 「(仮)環境共生住宅について」
☆12月(12月10日:12月は第二木曜日になります)【第244回一木会】
毎年恒例の古今亭駿菊師匠による落語会&忘年会です。
詳細につきましては後日お知らせします!

入居者レポート 羽根木ガーデンテラス 流し素麺パーティー&花火鑑賞会開催

調布&多摩川&鶴見川の花火大会に合わせ、去る8月22日(土)、屋上花火鑑賞会と4軒分の地階テラスを開放したローグ流し素麺パーティーが、当マンション「羽根木ガーデンテラス」にて開催されました。



男衆の楽しそうな乾杯の様子

6月の理事会でイベント委員長から発案され、7月に開催の案内が発信されると、たちまち「素麺は任せて。」「竹はどうする?」「あの公園の竹はすでに予約が入っていてダメみたい。」「竹は児童館で借りられるようだ。」と情報が飛び交い、あれよあれよとプランが具現化されました。なんと素晴らしい連携プレイ!「コーポラティブ的」とはこういうことなのだと思感した一幕から準備スタート。



ローグ流し素麺の様子

入居後、現在は第一次ベビーブームが到来しています。賑やかさが増す中、総量10kgの素麺を流しすくってすすりながら、老若男女会話を弾ませた、楽しく愉快なひと時を過ごしました。

その後、場所を屋上に移し、心地良い涼風を受けながら、一列に並ぶ三種の大輪小輪の華を皆で堪能しました。

記念すべき入居後第一回目のイベントとなりました。(羽根木ガーデンテラス 富村 俊介・美穂)



屋上での集合写真

記念すべき第240回一木会は「としまち研設立15周年記念の集い」

8月6日の一木会は、いつものとしまち研事務所から興産信用金庫本店3階ホールに場所を移し、「としまち研設立15周年記念の集い」として開催されました。

当日は大変暑い一日だったのですが、70名超のご参加があり、としまち研設立15周年を盛り上げていただきました。また、興産信用金庫さんのご好意により立派な会場をお借りできましたこと、お礼申し上げます。

当日は、杉山理事長からこの5年間の活動報告のあと、(独)住宅金融支援機構の森山真次さん、(一財)首都圏不燃建築公社の谷正隆さん、旭化成不動産レジデンス株の大木祐悟さん、地元・東松下町々会の佐藤嘉紘町会長から、それぞれとしまち研とのかかわりやとしまち研に期待することなどをお話していただきました。



ご参加ありがとうございました



ワークショップ(井戸端会議)の様子

そして、後半については、座談会ということは決めていたものの、どうしたら「としまち研らしい」企画になるのか、なかなか決めきれませんでした。もう皆さんにご案内しないと間に合わないというところで「せっかく多くの方にお越しいただくのだから、全員参加でしょう。」の事務局員の一言から全員参加のワークショップ(井戸端会議)をメイン企画とすることが決定。このあたりが、としまち研らしいというか、事務局の底力なのです。「としまち研はこんな取り組みを!こんなことを期待する」といったテーマで6グループに分かれて自由に意見を出し合いました。

全体としては人と人とのつながりを基軸にコミュニティを大切に、ハード面からソフト面まで幅広い活動を望む声が多く上げられました。いろいろな視点から、今後のとしまち研に望むことや活動の幅を広げるようなアドバイスがあり、とても有意義な時間を共有することができました。としまち研の20周年に向けた活動の糧となるご意見をたくさんいただきました。

また、当日は第240回の一木会でもあり、一木会の20周年になるわけで、非常におめでたい日でもありました。「継続は力」ですね。あらためて感じた一日でした。(としまち研副理事長 坂口耕司)



皆さまからの貴重なご意見

株式会社TMKサポート設立のお披露目会が開催されました

としまち研の会員有志により、としまち研を下支えするという目的で、2015年8月4日に株式会社TMKサポートが設立され、そのお披露目会がとしまち研会議室に於いて8月27日(木)に行われました。

代表:平石の挨拶の後、設立趣意の説明があり、その後設立発起人及び役員が紹介されました。

TMKサポートには、としまち研が取り組むコーポラティブハウス事業等の参加者募集業務や計画敷地の先行取得、また、それらの資金調達などで協力したり、有意義な取り組みだと判断されるような業務やNPOとしては活動に限界のある業務を担ったり、これまでとしまち研単独では取り組むことが難しいと判断されていたような活動を縁の下から支える、そして次世代の為の事業システムの確立などが期待されています。

まずは、会社組織だからできる取り組みはどのようなことなのか、手探り状態ではありますが、新しく設立したTMKサポートを維持していくための資金協力を、広くお願いしているところです。

設立お披露目会当日は、としまち研で行われる懇親会同様、終始和やかな雰囲気の中で解散となりました。(としまち研理事 平石郁夫)



設立を祝して乾杯!